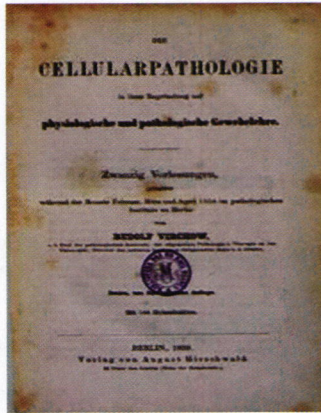


ふてしこ

6 '20
No.295

巡回通信誌



Virchow R
(1821-1902)

Cellular Pathologie

Common epithelial tumor 後の卵巣上皮性腫瘍 After the collapse of common epithelial tumors

名誉院長 西 田 敬

Virchow R原著による細胞病理学、天下の稀観本。実物なれば鑑定団で相当の値が付く筈。

実験医学に現をぬかしていた。英国の学会から招請状が舞込んだ。之を受けねば男が廃る。最高学府が聞いて呆れる、あの医者 of 言葉を知らん事ったら無いね！猫と女人は度し難し、即ち済度し難し。人の口に戸は立てられぬ。況や、悪事千里を奔る。教養が引籠り、無教養が蔓延るのが世の習慣。西欧人の教養は、

依然として古代希臘に根差す。悪行、悪気の限りを尽していた蛮人、minotauraを策略を用いてlabyrinth (迷路) に閉じ込め、誅殺したのが智将で良く知られたAthensの王、Theseus (或はMinos)。

永劫に続くかとも危惧された (15世紀間にも亘る) 原始宗教が支配的だった迷妄の時代を経て、漸く、Renaissanceを迎えた。通常、文芸復興と和訳されるが、今や、芸能ゴシップ記事の総本山に成下がり、陳腐化した文芸春秋社。嘸や、菊池寛も草場の蔭で、地団駄を！その建て直し、再出発をも連想させ、適訳とはい難い。蛮勇を承知で、再度の和訳を敢えて試みれば、「希臘的教養の復活」こそがRenaissanceの訳語として相応しいか歟。

自問自答は欠かせぬ。今日の婦人科癌検診は如何あるべき乎？気付かぬ裡に医学のRenaissanceに没入していたかも知れぬ。

